

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

常磐短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育保育学科 有志メンバー

実施内容 令和5年11月(虐待防止月間)に大学構内で啓発活動

12月16日に学科祭で啓発活動と活動報告展示

①事前に取り組んだ内容

社会的養護等の授業において、児童虐待の現状や関係機関等について学習した。また、学科内で特に児童虐待に対して関心が高い生徒を集め、虐待に対する想いや、自分たちに何ができるかなどの意見交換を行った。さらに、掲示物やポスター制作に向けて、各自児童虐待に関する書籍を読み知識を深めたり、児童虐待の事例などをインターネットで調べたりした。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

授業内で映像教材を使い、オレンジリボン運動の知識を深めるとともに、学科の学生全員でオレンジリボンの作成をした。虐待防止月間には、他学科の学生にリボンの配布や活動の説明等を行い、構内の掲示板に自作のポスターを掲示するなどの活動を行った。さらに、12月には学科祭にて活動報告を行い、並行して虐待に対する意見を集約するためのポストイットを貼るコーナーなどを設け、学科内での虐待への関心を高められるよう意識した。

③オレンジリボン運動を終えて…

将来、保育士など子どもに関わる専門職になる私たち。この活動を通して、児童虐待に関する知識を深め、この問題に対し、より身近な意識を持てるようになった。子どもだけでなく保護者の方や地域の子育て家庭全体を支援することのできる専門職になりたいという思いが強くなった。

また、児童虐待やオレンジリボンについて本学の学生からは、「沢山の子どもが笑顔になってほしい」「もっと多くの人に知ってもらいたい」など前向きな意見が多数寄せられた。

今後も、児童虐待の問題をより多くの人に知ってもらい、悲しむ子どもを減らし、笑顔を増やすためにオレンジリボン運動に参加したい。



【常磐短期大学】 <https://www.tokiwa.ac.jp/>